

令和5年度 (2023年度)	選挙管理委員会事務局の取り組み
<事務局長の方針・考え方> ①適正、円滑かつ効率的な選挙事務の管理執行 ②選挙啓発事業の推進	
<構成> 選挙管理委員会事務局	<主な担当事務> (1)選挙、国民審査及び国民投票の管理執行に関すること (2)選挙の啓発に関すること

重点的な取り組み：選挙の公正かつ適正な管理執行

令和5年度は、4月に執行する第20回統一地方選挙（大阪府知事選挙、大阪府議会議員選挙、枚方市議会議員選挙）をはじめ、枚方市長選挙を9月に執行する他、令和6年1月27日に任期満了を迎える氷室財産区議会議員選挙が予定されていることから、各部署及び関係機関と連携を図りながら計画的に業務を遂行するとともに、公職選挙法に基づき、公正かつ適正な選挙事務の管理執行に努めます。

実績	① 選挙の公正かつ適正な執行。
説明	① 4月執行の第20回統一地方選挙（大阪府知事選挙、大阪府議会議員選挙、枚方市議会議員選挙）及び9月執行の枚方市長選挙並びに、令和6年1月執行の氷室財産区議会議員選挙にあたっては、選挙期日に向け十分な事前準備を行い、各部署や関係機関と連携を図りながら、公正かつ適正な選挙事務を行いました。 また、投票所で必要な支援を口頭で伝えることが困難な方や苦手な方がスムーズに必要な支援を受けられるようにするため、新たに「投票支援カード」を導入し、投票環境の向上を図りました。 なお、氷室財産区議会議員選挙については、選挙執行に向けて準備を進めましたが、無投票当選となりました。

重点的な取り組み：政治や選挙への関心を高めてもらうための啓発事業の実施

特に若年層の投票率が低い状況にあることから、将来有権者となる児童や生徒に政治や選挙への関心を高めてもらうため、市内の小・中・高校に対して選挙に関する出前授業の活用を働きかけるとともに、選挙物品の貸出しを行っている旨の周知についても積極的に行います。また、生徒に明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品を募集するなど、教育委員会をはじめ関係機関と連携して啓発事業を実施することに加え、新たに有権者となった満18歳の方に対し、選挙啓発のはがきを発送し投票を促すなど、若年層を中心とした啓発事業を進めます。

その他、多くの方に政治や選挙に関心を持ってもらえるよう、機関紙白ばらの発行や白バラ講

座の開催など、枚方市明るい選挙推進協議会と協力し、啓発事業を実施します。

<p>実 績</p>	<p>① 白バラ講座を実施。 <講座テーマ：「生きる力」、講師：笠井 信輔（フリーアナウンサー） 参加者：747人></p> <p>② 明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品募集及び展示会等を実施。 <応募：451点、入選：22点、カレンダー配布：300枚></p> <p>③ 選挙物品の貸出しを実施。 <貸出：中学校 4校・高等支援学校 1校></p> <p>④ 出前授業を実施。 <実施：小学校 3校・中学校 4校、参加：797人></p> <p>⑤ 選挙時啓発を実施。</p> <p>⑥ 選挙啓発はがきを発送。<発送：3,317通></p>
<p>説 明</p>	<p>① 市民を対象に、幅広い教養と知識を身につけることにより市民の選挙意識を高めることを目的とした講座を実施しました。</p> <p>② 小・中学校の児童、生徒を対象に明るい選挙啓発ポスターコンクールの作品を募集するとともに、入選作品を題材にしたカレンダーを作成して学校や関係機関に配布するなど、若年層に向けた啓発活動に取り組みました。</p> <p>③ 将来有権者となる児童・生徒に選挙を身近に感じてもらう機会を提供するため、市内の中・高校に対して選挙物品（投票箱・記載台など）の貸出しを行いました。</p> <p>④ 選挙権がない年齢から、選挙の知識・関心を深めてもらうことを目的に、選挙管理委員会の職員等が小・中学校に出向き、選挙の仕組みや意義、投票の仕方などについて講義を行うとともに、実際の選挙と同様に児童・生徒たちの身近なことがらをテーマにした模擬投票を実施しました。</p> <p>⑤ 選挙の執行時には、明るい選挙推進協議会と共同で、駅やショッピングセンター等においてポケットティッシュを配布するとともに、自治会等の協力のもと選挙啓発ポスターの掲示や選挙啓発のぼりの掲出等を行いました。</p> <p>⑥ 新たに有権者となった満18歳の方に対し、投票を促すための選挙啓発はがきを発送しました。</p>